

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 観光・ジオパークグループ

基本事項	事務事業名	島原半島ジオパーク推進連絡協議会負担金				整理番号	1501	
	根拠法令等	—				実施を義務付ける規定	○あり ●なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	▼	予算目	7 款 1 項 3 目	◎継続 ○新規		
		節 第2節 交流活動推進	▼	事業区分	市民サービス事業		▼	
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	雲仙普賢岳噴火災害以降、観光客や宿泊客が減少している状況にあることから、従前から取り組んでいる湧水や歴史などの観光資源に加え、島原半島ジオパークという新たな観光素材を最大限に活用し、交流人口の増加促進を図る。				計画期間	始期 昭和 20 年から 終期 平成 年まで	
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	島原半島3市で推進する「島原半島ジオパーク」は、平成21年8月22日、国内で初めて世界ジオパークネットワークに加盟。世界ジオパークの加盟地域は4年ごとに現地審査が行われ、世界ジオパークとしての品質の維持が求められることから、世界ジオパークネットワークからの指摘事項に対処し、ジオパークの整備を進めるとともに、地質資源の保護、並びにジオツアーや観光PRを行い、また、今般の第5回ジオパーク国際ユネスコ会議の島原宣言にも謳われた防災教育の重要性など、ジオパークを用いた教育・観光振興を推進することで、交流人口の拡大を図る。						
	目的達成のための手段・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客の誘致活動 ○平成25年度世界ジオパークネットワーク再認定を目指しての取り組み(指摘4項目の改善) ○各種看板の整備(多国語解説版、総合案内板、歓迎看板、誘導案内板) ○観光PR素材の作成(ガイドブック、リーフレットなど) ○ジオガイド養成(中級)・ジオパーク検定の実施 ○キャラクター(ジーオくん、ジーナちゃん)による宣伝・PR、ロゴマーク、キャラクターを活用したPR素材の作成とイベントでの活用、特産品への利用など。 						
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)	単位	22年度	23年度	24年度		
	①島原市の観光入込客数の増加	目標 千人	1,350	1,350	1,350			
		実績 千人	1,335	1,268				
		達成率 %	98.9	93.9	0.0			
	活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	目標						
	ジオツアー参加者の増加	人	2,000	2,300	2,700			
		実績	人	1,873	2,303			
		目標						
		実績						
事業費等の推移	年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	区分	実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画	
	①直接事業費(千円)	2,826	3,205	8,577	7,803	7,467		
	財源内訳	国県支出金						
		地方債						
	その他							
	一般財源	2,826	3,205	8,577	7,803	7,467	0	
②従事職員給与費 b1×b2	21,459	21,486	14,336	14,472	14,554	0		
従事職員数(人) b1	3.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
職員平均人件費 b2	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277			
事業費合計 ① + ②	24,285	24,691	22,913	22,275	22,021	0		

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 国際会議の開催もあり、市民の関心は高まっている。25年度の再審査において再認定を受けるべく、更なる取り組みが求められている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である ジオパークの認知度や関心の高まっており、これに伴い必要性の認識も強くなっている。また、島原半島全体という広域での取り組みでもあり、引き続き行政主導での取り組みが必要あり。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 行動計画に基く、基本方針(保護・保全、調査研究・教育、観光・地域振興)推進のための施策が着実に進んでいる。	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 半島3市相互や関係団体との連携強化により、成果指標向上の可能性は考えられる。	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 県補助制度などを活用し、事業費の軽減にも努めている。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 すでに、誘致・PR活動については、島原半島観光連盟と分業して取り組んでいる。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 推進連絡協議会の構成員(半島3市や国、県、調査・研究機関、民間団体など)間における連携強化、円滑な運営が図られている。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
判定評点平均			
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合評価

評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	<p>日本で初めての世界ジオパークに認定され、新たな資源として、観光や教育などへの活用が期待されている。ジオパークの認知度とともに市民の関心も高まっており、この流れを受けて、平成25年度に行われる世界ジオパークの再審査において引き続き認定されるための取り組みが必要である。</p>
	<p>今後の課題及び改善策、見直しの状況</p> <p>(実施上の課題等) 島原半島3市による連携強化と事務局体制の維持。</p>		
<p>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</p>			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況

① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	